



実践に活かす 温熱・省エネ設計

数値の意味を理解し、プレゼン力を身につける

建築物の省エネルギーは重要性を増しており、2020年に向けて省エネルギー基準の義務化が控えています。設計者にとっては、設計の諸条件に省エネルギーが追加される為、負担に感じていると思います。

本研究会では、中立の立場から、建築物の高性能化や省エネルギーの評価を推進しています。今回は、パッシブデザイン設計の第一人者である辻充孝先生(岐阜県立森林文化アカデミー)を講師に招き、講座を開講します。準寒冷地域の省エネルギーの考え方を整理します。またパッシブデザインの手順を具体的に学ぶことで、設計の価値向上に繋がります。

日時

10月30日(火) 13:00~17:00

- ・設計事例紹介を交えて、パッシブデザインの流れを概観
- ・気象データの取得、敷地周辺状況の把握、暮らしの把握
- ・断熱性能を学ぶ(計算の流れ、活用方法)

10月31日(水) 9:30~16:30

- ・気密性能、日射制御性能、防露性能を学ぶ(要点や計算など)
- ・一次エネルギー計算を学ぶ(設備選定の優先順位)
- ・エネルギーから光熱費換算を学ぶ(プレゼン力の向上)
- ・環境家計簿を活用した住まい手個人個人の暮らしを読む方法を学ぶ

場所

ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)小ホール

・住所:〒380-0928 長野県長野市若里 1-1-3

受講料

全2回: SAH会会員・建築士会会員: 5,000円
一般 10,000円

申し込み方法

- 次の情報をメールかFAXで連絡してください。
- ・必要情報: 氏名、職業、所属先、住所、メールアドレス、電話番号、会員種別(SAH会会員・建築士会会員・一般)
 - ・メール: kikaku@the-sah.com
 - ・FAX: 026-227-4328(長野ピーエス株式会社)

講師

岐阜県立森林文化アカデミー

辻 充孝 准教授

大阪芸術大学建築学科卒。Ms建築設計事務所を経て2001年より現職。2012年から建築士会連合会環境部会委員。2013年から環境共生住宅推進協議会パッシブデザイン検討委員。住まいの温熱環境やエネルギー消費に興味を持ち、主に木造住宅の設計、環境性能評価の講座を受け持つ。一級建築士。

